

2014 年度第 3 学期 立教英国学院高等部 2 年生

受験ガイダンス資料①

大学入試のしくみを理解しよう

H2	クラス	氏名
----	-----	----

大学入試のしくみを自分でも ちゃんと勉強しておきたい！でもどうやって？

①オンライン・サイト

大手の予備校や大手学習通信講座は、大学入試情報サイトを運営していることが多い。受験指導の実績が長く、高校生のデータを豊富に持っているため、差異はあれども信用性が高く、充実した内容は勉強になる。

【例】 Kei-Net 河合塾が提供する大学入試情報サイト <http://www.keinet.ne.jp/>

学校での模試が河合塾になったが、このサイトは模試データを活用できる点もあり、一番利用し甲斐があるだろう。



他…駿台予備校、Z会、リクルートナビ

② 大学受験用の受験用雑誌、受験用書籍

③ 各大学の大学入試情報サイト

④ 予備校の受験情報講座・チューターから

2016年度入試 スケジュール

2014. 10月現在

	国公立大学		私立大学 短期大学
	分離・分割方式	中期日程(公立大学のみ)	
2015年 7月	31日まで	選抜要項(日程・定員・出題科目・時間・配点など)発表	AO入試
9月	1日～	大学入試センター試験 受験案内配付	
	9月～10月初旬	大学入試センター試験 検定料等払込	
10月	上旬～中旬	大学入試センター試験 出願	
11月			推薦入試
12月	～15日	募集要項発表	
2016年 1月	16・17日	大学入試センター試験(本試験)	出願
	16・17日	大学入試センター試験 正解等の発表	
	20日予定	大学入試センター試験 平均点等の中間発表	
	～22日	推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)結果発表	
	22日予定	大学入試センター試験 得点調整実施の有無の発表	
	23・24日	大学入試センター試験(追試験・再試験)	
	25日～2月3日	2次(個別)試験 出願	
2月	上旬	大学入試センター試験 平均点等の最終発表	一般入試(2月)
	～10日	推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表	
	～10日	第1段階選抜の結果発表(前期)	
	～17日	推薦入試・AO入試合格者の入学手続	
	25日～	前期日程試験	
	～28日	第1段階選抜の結果発表(後期)	
3月	1日～10日 (国立は6日～)	合格発表	合格発表・入学手続
	12日～	後期日程試験	
	～15日	入学手続	
	20日～24日	合格発表	
	～27日	入学手続	
	28日～	追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験	
	～31日	入学手続(第2次締切)	
4月	16日～	大学入試センター試験 成績の本人開示	一般入試(3月)

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学のAO入試は夏以降、年間を通じて実施されています(原則8月1日以降出願スタート)。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

大学入試のしくみを 理解しよう

河合塾の大学入試情報サイト Kei-Net より。
一部改変・追加してある。

これは 2015 年度入試のものです。

2015 年度に高校 3 年生の皆さんは、2016 年度入試の受験生です。

2016 年度入試の詳細は、これからの発表です。

参考に読んで下さい。

①センター試験について理解しよう



日本最大規模の試験「センター試験」

大学入試と聞いて、まず「センター試験」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか？ センター試験の正式名称は「大学入試センター試験」で、独立行政法人「大学入試センター」が実施する試験です。センター試験は毎年1月中旬の土・日曜の2日間に全国で一斉に実施され、毎年50万人以上が受験する日本最大規模の試験です。

国公立大学の一般入試受験者は、原則、センター試験を受験しなければなりません。また、多くの私立大学でもセンター試験の成績が利用できる「センター試験利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、このセンター試験対策は必須といっても過言ではないでしょう。



センター試験はマーク式で基礎的な内容

センター試験は国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の6教科31科目で構成されます。この中から、最大8科目（理科①を選択した場合は9科目）を受験できます。受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験することになります。

コラム～2015年度入試から新課程対応に～

2012年度に入学した高校生から教育課程が変わっています。これにあわせて大学入試も2015年度から数学、理科で、翌2016年度から英語、国語など他の教科も新しい教育課程に対応した内容に変わります。センター試験も出題科目・範囲等が変わります。

平成 28 年度大学入試センター試験出題教科・科目の出題方法等

教科	科目	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点)
国語		『国語』	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	『倫理、政治・経済』は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理、政治・経済』			
数学	①	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	『数学Ⅰ・数学A』は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	『数学Ⅱ・数学B』は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 『簿記・会計』は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。 『情報関係基礎』は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」には、一部に選択問題を配置する。	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
外国語		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	『英語』は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 (『英語』のみ) 60分(うち解答時間30分) (50点)

- 備考 1 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目とする。
- 2 「平成28年度大学入学選抜に係る大学入試センター試験実施大綱」の別紙様式の「記入上の注意5」にいう『国語』の特定の分野は、「出題方法等」欄中の「近代以降の文章（2問 100点）、古典（古文（1問 50点）、漢文（1問 50点））」とする。
- 3 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と『倫理、政治・経済』及び「政治・経済」と『倫理、政治・経済』の組合せをいう。
- 4 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
- 5 理科①については、1科目のみの受験は認めない。
- 6 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答する。
- 7 リスニングは、音声問題をを用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

○ 旧教育課程履修者に対する経過措置

平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に対応した平成28年度大学入学選抜に係る大学入試センター試験では、旧教育課程履修者に対する経過措置は講じない。

ただし、平成28年度大学入試センター試験から出題しないこととした「工業数理基礎」については、平成28年度大学入試センター試験に限り、旧教育課程履修者のための出題科目として残し、平成11年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づき、従前と同様の試験時間（60分）、配点（100点）により出題する。

なお、新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できない。

（科目選択の方法）

「工業数理基礎」は、数学②において出題する「数学Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』及び『情報関係基礎』の4科目と合わせ、計5科目のうちから1科目を選択解答する。

（注）

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成28年3月卒業見込みであるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者

※ 「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

それぞれの試験時間帯で受験できる科目は、地理歴史・公民と理科は最大2科目（理科①を選択した場合は3科目）、そのほかの教科は1科目となっています。また、「英語」の受験者には、筆記試験とは

別の時間帯で実施される「リスニング」が必須となっています。

出題は全教科とも「マークシート方式」で実施されます。問題はそれぞれの教科の基礎の部分をしっかりとし身につけているかどうか重点が置かれています。平均点は6割程度となるように作問されており、それほど難問が出題されることはありません。高校の授業や教科書の内容を着実に身につけていれば解答できる問題です。ただし、科目によっては問題数が多く、解答するスピードが要求されます。過去問に取り組むなどして、時間内に解答する力をつけておきたいものです。

「英語」受験者は必須となっているリスニング対策も欠かせません。リスニングは各受験者に配られるICプレーヤーで実施されます。試験内容はもとより、その独特な試験形式にも慣れるべく、予備校等が実施する模擬試験を活用するなど、しっかりと準備をしておきましょう。

なお、センター試験には、出願や受験の際に注意すべき点があります。次ページで、これらについて確認してみましょう。

メモ



どの科目を受験すればよいの？

センター試験でどの科目を受験すればよいのか？ これはみなさんが受験する大学によります。合否判定に用いるセンター試験の教科数や指定教科（科目）は大学により異なるのです。

受験に必要な教科数は、国公立大学では多くの大学が5教科以上、私立大学のセンター試験利用方式では2～3教科が一般的です。指定教科（科目）も、大学により異なりますが、理科や地理歴史・公民などは受験生の勉強科目に応じて受験できるよう複数科目から自由に選択できる場合が多くなっています。ただし、学部・学科の性質上、特定科目を必須とするケースも見られます。

理科については特に注意が必要です。国公立大学の理系学部では、理科①を認める大学はほとんど見られません。国公立大学の理系学部を志望するなら、理科②を2科目選択しておくべきでしょう。一方、国公立大学文系学部では、理科①2科目または理科②1科目で受験できる大学がほとんどです。ただし、東京大など難関大学では、理科①、理科②のいずれを選択した場合も2科目を必要とする大学が見られます。このため、理科①2科目を選択しておくべきでしょう。私立大学に関してもやはり、理系は理科②、文系は理科①と考えておけばよいでしょう。

なお、2015年度に限り、センター試験には旧課程履修者に対応した科目が用意されます。これらの科目を選択できるのは、旧課程履修者のみになります。出題科目や選択方法などの詳しい内容については、2015年度入試情報をご覧ください。（2015年度の高等部3年生は、2016年度大学入試ですので、関係ありません。）

このほかに、科目選択時に注意しなければならない科目として、「英語以外の外国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」「地歴A（世界史A・日本史A・地理A）」があります。これらを出題科目として指定しない大学が多く見られます。また、公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」も、旧帝大などの難関大学では受験できないケースが見られる科目です。

なお、前述のうち数学(2)の「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」は、受験科目として指定されていても、「高等学校においてこれらの科目を履修した者のみ選択可能」といった制限が設けられている場合が多々見られます。

これらの科目での受験を考える場合は、志望校の指定科目をしっかりと確認しておく必要があります。



受験教科の事前登録に注意

センター試験では2012年度から、受験教科の事前登録制が導入されています。これは10月のセンター試験出願時に、受験したい教科をあらかじめ登録しておくもので、理科では選択方法（理科①②の組合せと受験科目数）、地理歴史・公民では受験科目数もあわせて登録します。

10月というと試験本番の3ヶ月前ですが、受験大学を決めていないからといって安易に受験教科・科目数を登録してしまうことは避けたいところです。出願時に登録した内容は、1度だけ「訂正」の機会があります。しかし「訂正」期間は11月初旬の1週間程度と短くなっています。手続きに手間と時間がかかることはもちろんですが、この時に「訂正」した内容は、万一誤って登録したとしても2度目の「訂正」はできません。出願時には、ある程度受験大学を絞りこみ、その大学が課すセンター試験教科・科目を調べておくようにしましょう。

理科②、地理歴史・公民を1科目しか利用しない大学では、これらの教科を2科目受験した受験生の成績は高得点の科目ではなく、第1解答科目（理科②、地理歴史・公民で1科目めに受験した科目）を指定する大学があります。さらに、理科②、地理歴史・公民の特定科目を必須としている場合には、センター試験ではその科目を第1解答科目として受験する必要があります。

これらの理由からも、センター試験の受験教科・科目は少し早めの段階から考えておく必要があるのです。



センター試験の翌朝には解答・配点が公表される

センター試験の翌朝には新聞等で解答・配点が公表されますので、受験生はこれをもとに自己採点を行うことができます。国公立大学の出願は、センター試験終了約1週間後からとなっていますので、センター試験の結果を踏まえて出願することができます。

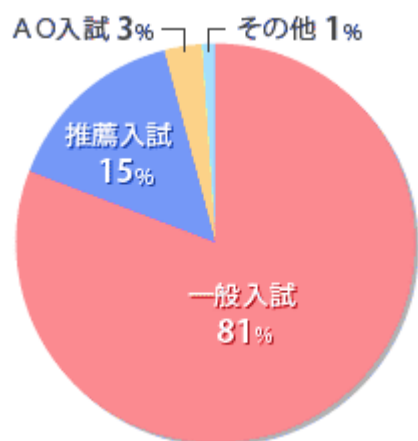
Kei-Netでもセンター試験実施後に問題内容の分析、解答速報を行っていますのでぜひ活用してください。また、過去のセンター試験の問題も「学習対策」コーナー（注：大手予備校のオンラインサイトで、ほとんど見ることはできません）で閲覧することができます。学習対策にぜひ役立ててください！

②センター試験と2次試験で決まる国公立大学入試



国公立大学は定員の8割を一般入試で募集

国公立大学募集人員の割合



※数値は2014年度入試のもの（文部科学省資料より）

大学入試を大きく分けると、「一般入試（一般選抜）」と推薦入試・AO入試といった「特別選抜」と呼ばれるものがあります。表は国公立大学の募集人員の割合を入試選抜方法別にみたものです。近年、募集人員枠が大きくなっているAO入試、高等学校長の推薦により出願できる推薦入試などがありますが、一般入試の募集人員枠が全体の8割以上を占めていることから、国公立大学志望者はまず一般入試での受験を考えて受験勉強をスタートさせるべきでしょう。

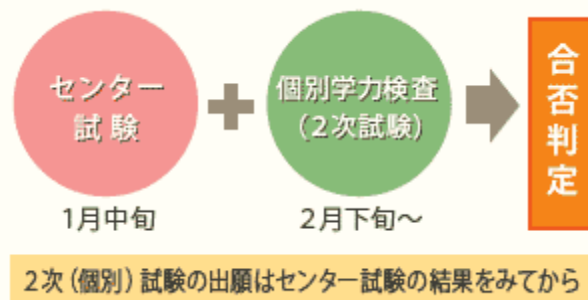


国公立大学一般入試のしくみ

ここからは国公立大学の一般入試の仕組みについてみていきましょう。国公立大学の一般入試は、1次試験的役割を果たす「センター試験」の得点と、大学別に実施される「2次試験（個別学力検査）」の得点の合計で合否を判定します。

国公立大学志望者は、1月中旬に実施される「センター試験」を原則受験しなければなりません。試験翌日には新聞等で解答・配点が公表されますので、自己採点を行った後、志望する大学に願書を提出します。注意したいのが国公立大学の出願期間です。国公立大学の出願期間は、センター試験の約1週間後からスタートし、約10日間となっています。思うように得点できなかった場合は、当初考えていた出願校を変更しなければならなくなることも考えられます。出願時になって慌てないよう事前に複数の候補を挙げておくことが必要でしょう。

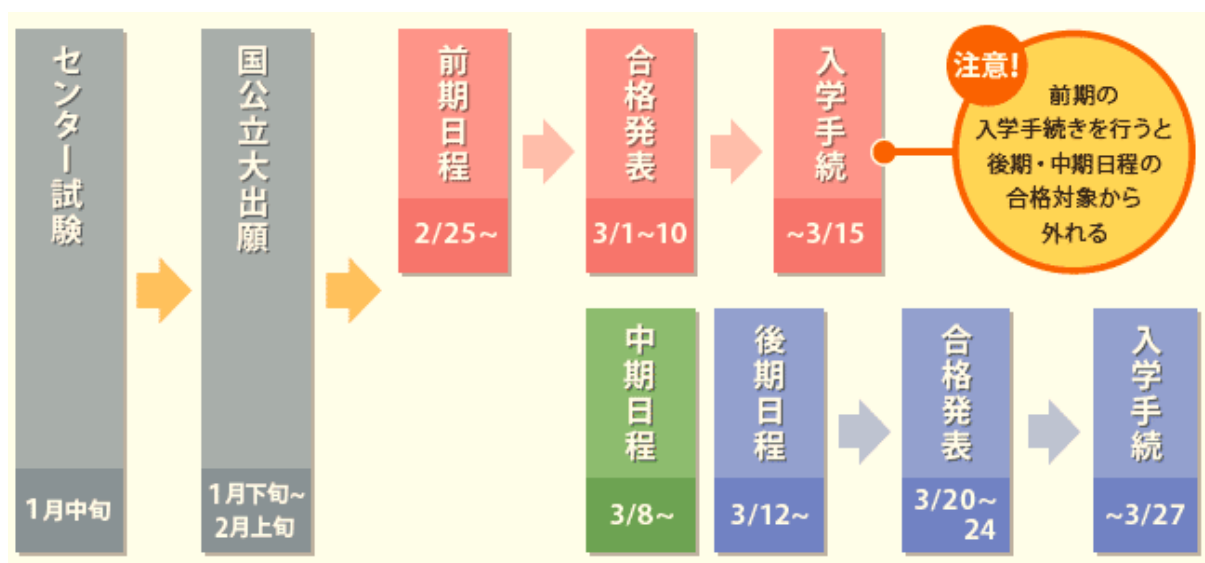
センター試験と2次試験（個別学力検査）



「分離・分割方式」を把握しよう！

各大学で実施される2次試験（個別学力検査）は2月下旬から行われます。

2次試験は「前期日程」「後期日程」の2つの日程に募集人員を振り分けて選抜する「分離・分割方式」という制度で実施されます。受験生は「前期日程」と「後期日程」にそれぞれ1校ずつ出願できます。同じ大学・学部を2回受験することも可能ですし、別々の大学・学部を受験することもできます。また、一部公立大学では「中期日程」を設定する大学もあります。これらをあわせると国公立大学は最大3校の受験が可能となります。



注意しなければならないのは、「前期日程」で合格して入学の手続きを行うと「中期日程」「後期日程」を受験していても、合格の権利を失ってしまうということです。つまり、「前期日程」の合格者は「中期日程」「後期日程」の合否を確認することなく「前期日程」で受験した大学への入学の判断を迫られ

ることとなります。そのため、第1志望校は「前期日程」で受験するのがセオリーとなっています。

また、前期日程と後期日程の募集人員の割合は8：2と圧倒的に「前期日程」の割合が高くなっており、「分離・分割方式」は複数回の受験機会があるとはいえ、実質的には「前期日程」を中心とした仕組みとなっています。



出願しても2次試験を受けられない？～2段階選抜～

国公立大学の一般入試でもう1つ気をつけなければならないのが2段階選抜という制度です。

これはセンター試験の成績を用いて2次試験の受験者を事前に選抜したうえで（これを第1段階選抜といいます）、2次試験を実施する制度です。選抜が2段階に分かれていることから2段階選抜とよばれています。

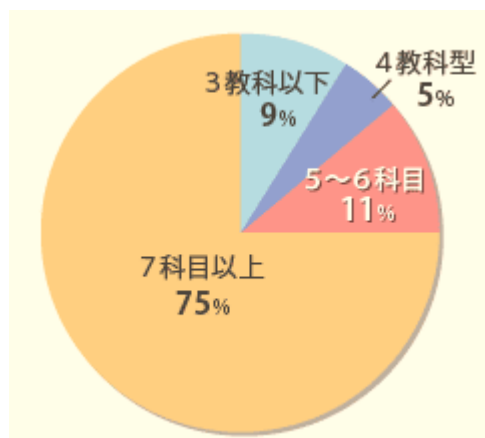
2段階選抜の実施の有無は大学によります。また、第1段階選抜の実施方法も大学に委ねられています。多くの大学では「志願者が募集人員の○倍を上回った場合、第1段階選抜を実施する」としており、志願者数の状況によって第1段階選抜の有無が決まります。そのため、実際に2段階選抜が実施されるのは、志願者が集まる難関大学や医学科のような人気学科が多くなっています。なお、一部の大学では志願者数に関係なく「センター試験の点数が○点以上の者を第1段階選抜の合格者とする」といったように、予め設定した第1段階選抜の合格ラインをクリアした者だけが2次試験を受験できる大学もあります。

2段階選抜の実施を予定している大学では、センター試験の成績次第で2次試験を受けることなく不合格となる場合もあるわけです。国公立大学志望者は、まずセンター試験でしっかりと得点できる力をつけることが大事といえるでしょう。



センター試験は7科目以上の受験が基本

国公立大学 センター試験必要教科・科目数の状況



※円グラフはセンター試験の教科・科目構成パターン別に募集人員の占める割合を表したもの
※数値は2014年度入試のもの

入試科目はセンター試験・2次試験(個別学力検査)とも大学により異なります。主な傾向をみていきましょう。

センター試験では、国公立大学の75%が7科目以上を課しています。国立大学だけに絞ると、7科目以上を課するのは9割近くに達します（一部の学科のみの実施を含みます）。

なお、この7科目以上の構成も大学により異なりますが、大別すると次の4つのパターンに分けられます（理科①は2科目セットで1科目とカウントします）。

（総合型）外・数・国・理2・地公2

（文型）外・国・地公2必須、数・理から3（数2必須のパターンを含む）

（理型）外・数2・国・理2・地公

（選択型）外・国必須、数・理・地公から5（数2必須のパターンを含む）

学部系統別に教科パターンをみていくと、文系学部では地歴公民2科目が必須の文型、理系学部では理科2科目が必須の理型が一般的となっています。また、教員養成系と医療系の学科の一部では、負担感の強い総合型を課しているところもあります。

国公立大学でも少数派ながら少ない教科・科目数で受験できる大学はあります。しかし、受験科目を絞れば負担が減るかわりに、志望校の選択幅がぐっと狭まります。国公立大学志望者は5教科7科目に対応した学習を基本と考えたいものです。



2次試験科目は日程によって傾向が異なる

2次試験の入試科目もセンター試験同様に大学によって異なります。また、同じ学科でも日程により異なるケースがほとんどです。

前期日程の入試科目は、一般的には文系学部で「外国語、数学、国語、地歴・公民」から2～3教科、理系学部では「外国語、数学、理科」から2～3教科が課されます。ただし、東京大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、九州大学など一部の難関大学では4教科を課す学部・学科もあります。

一方、後期日程では前期日程に比べ教科数を1～2教科に減らすケースや、総合問題、小論文や面接などを課すところも多くなっています。なかには、2次試験を行わずセンター試験の得点で合否を決定する大学もあります。

配点についてもセンター試験、2次試験ともに大学ごとに設定されています。多いのは専攻する学問に関連する教科の配点を高くするパターンで、例えば理系学部では数学や理科の配点が高くなっているケースが目立ちます。また、センター試験と2次試験の配点比率も大学によってかなりの差があるので注意が必要です。

国公立大学 入試配点比率の例

2次試験の配点比率が高いパターン
(京都大学 教育<文系> 前期)

センター試験		2次試験
50	外国語	200
50	数学	150
50	国語	200
50	理科	
50	地歴・公民	100

センター試験のみを利用するパターン
(埼玉大学 教養 後期)

センター試験		2次試験
200	外国語	
200	数学	
200	国語	
100	理科	
200	地歴・公民	

特定教科の配点比率が高いパターン
(弘前大学 理工-数理科学 前期)

センター試験		2次試験
200	外国語	
200	数学	800
200	国語	
200	理科	
100	地歴・公民	

※表中の科目・配点はいずれも 2014 年度入試のもの

入試科目や重視される科目によって、必要となる受験対策も変わってきます。志望校の入試科目や配点、センター試験と2次試験の配点比率などはきちんと押さえておきたいものです。各大学の入試科目・配点は、入試前年の7月に「入学者選抜実施要項」として発表されます。また、入試科目などが大きく変更となる場合は、これより早くホームページ等で公表されています。気になる大学は早めにチェックをしておきましょう。Kei-Netでも各大学の入試変更点をまとめているのでぜひ活用してください。

メモ

③多様な選抜方法がめじろ押しの私立大学入試



多種多様な私立大学の入試

私立大学の入試も、大別すると国公立大学と同じように一般入試と推薦入試、A O入試に分けられます。ここではまず、メインとなる「一般入試」の状況について確認していきましょう。

私立大学の一般入試では、国公立大学のように統一した入試日程は設定されていません。各大学が自由に入試日程、選抜方法を設定しています。また、国公立大学と違い、試験日が重ならなければ何校でも受験できるのも私立大学入試の特徴でしょう。この一般入試は、各大学で試験を実施する「一般方式」とセンター試験の成績を利用する「センター試験利用方式」に大別できます。



一般入試のピークは1月下旬から2月中旬

私立大学の一般方式は、主にセンター試験が終わった1月下旬～2月中旬に行われます。

入試科目は大学によりさまざまですが、文系学部は英語・国語・地歴公民または数学から3教科、理系学部は英語・数学・理科の3教科を課すパターンが一般的です。また、大学・学部の特性に応じ、入試科目や配点に特徴がある入試方式を実施しているところも多く、これらを組み合わせて1つの学部・学科で2つ以上の入試方式をもつ大学も少なくありません。

代表的なものとしては、入試科目を1～2科目としたり、特定科目の配点比率を高くする方式があります。受験生から見れば科目を絞って勉強することができるうえ、得意科目を活かせる入試となっています。このほか、学科試験を課さずに小論文や論述試験で選抜する方式や、英語（英検、TOEIC等）や日商簿記などの資格取得者に点数を加算する方式なども見られます。

ただし、方式ごとの募集人員は、3教科型入試の比率が高い大学が一般的です。あくまでも3教科型入試の対策を基本としたうえで、他の入試方式は自分に適した方式があれば上手に利用するとよいでしょう。

さまざまな入試方式の例（立命館大学国際関係学部の一般方式（2014年度））

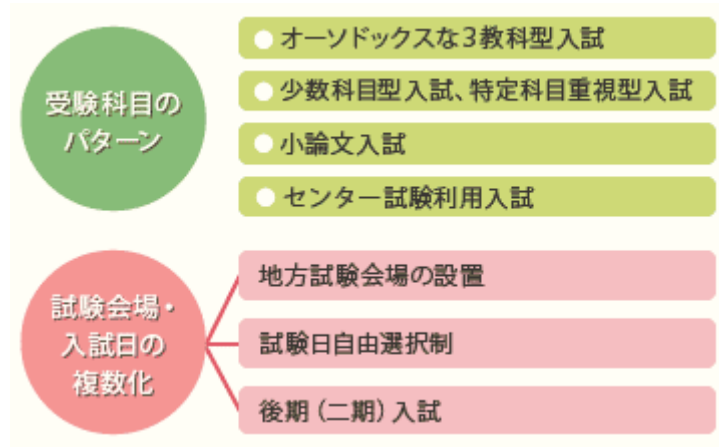
方式	出題科目
全学統一方式（文系） （スタンダード3教科型）	英語（120）、国語（100）、数学・地歴・公民から1科目選択（120）
学部個別配点方式 （特定科目重視型）	英語（150）、国語（100）、数学・地歴・公民から1科目選択（100）
I R方式（英語総合型）	英語（300）
後期分割方式	英語（120）、国語（100）

※（ ）内は配点



私立大学の入試制度

試験日自由選択制度や学外試験会場の設置も



私立大学の一般方式に統一した入試日程はないとはいえ、2月上旬頃には志望校の試験日同士が重なってしまうこともよくあります。

このため、多くの大学が設定しているのが「試験日自由選択制」です。試験日を2日以上設定しておいて、受験生が都合のよい日を選んで受験できるようにしています。さらに、複数の試験日を受験することを認めている大学も多くありま

す。

また、受験生が受験しやすいように試験会場をキャンパスの所在地域以外に設置する大学も多くあります。全国の主要都市に会場を網羅している大学もあり、こういった大学では、直接大学まで行かなくても近隣で受験が可能です。交通費や宿泊費を節約できるだけでなく、時間的・体力的な負担も減らせるため受験生にとっては便利な制度といえます。

メモ



うまく活用したいセンター試験利用方式

センター試験の成績を活用する「センター試験利用方式」も多くの大学で導入されています。2014年度にセンター試験を利用する入試を実施した私立大学は521大学で、全私立大学の約9割で実施しています。

現在、私立大学の受験戦略として「センター試験利用方式」の活用は欠かせないものとなっています。その理由は、受験生にとっては負担感の小さい入試方式となっていることが多いからです。

センター試験利用方式では、大学独自の試験を課さずセンター試験の結果だけで合否を決定するケースが一般的です。つまり、センター試験さえ受験していれば、大学へ赴くことなく私立大学の併願が可能となるのです。国公立大学を第1志望としている受験生にとっては過度な私立大学の受験対策が必要なくなります。私立大学専願者にとっても受験チャンスの拡大につながるでしょう。

また、大学からみると試験問題を作成する手間がかからないことから、受験料は一般方式と比べて安価に設定されているケースがほとんどです。

センター試験の必要科目数は一部の難関校で4教科以上としているところもありますが、多くは3教科以下となっています。一般方式と同様に教科数や出願期間を変えて複数のセンター試験利用方式を設定している大学も多くあります。

さまざまな入試方式の例（立命館大学国際関係学部のセンター試験利用方式（2014年度））

方式		出題科目
センター試験 方式	7科目型	外国語（200）、国語（200）、数学・理科・地歴・公民から5科目（500）
	5教科型	外国語（200）、国語（200）、数学・理科・地歴・公民から3科目（300）
	3教科型	外国語（200）、数学・国語・理科・地歴・公民から2科目（400）
	後期型	外国語（200）、数学・国語・理科・地歴・公民から3科目（600）
センター試験 併用方式	3教科型	センター試験：数学・地歴・公民から1科目（100） 大学独自試験：英語（150）、国語（100）

※（ ）内は配点

センター試験利用方式で注意したいのが出願期間です。国公立大学の一般入試はセンター試験後となっていますが、私立大学では難関大を中心にセンター試験前に出願を締め切る大学も少なくありません。その場合はセンター試験の結果を踏まえての出願ができません。

コラム～センター試験が必須の私立大学も～

ごく一部ですが、私立大学にも一般入試でセンター試験必須の大学があります。産業医科大学や豊田工業大学、一部芸術系の大学では、センター試験の受験が必須です。



最後まで諦めない～2期（後期・3月）入試～

2月下旬～3月にかけて再度入試を実施する大学も多くあります。大学により呼び方は異なりますが、「2期入試」「後期入試」「3月入試」などの名称が多くなっています。

1月末から2月にかけて行われた試験の合格発表が終了してから出願できるため、「敗者復活」的な意味合いが強い入試となっています。ただし、募集人員が少ないため、大学によっては高倍率となり、前期試験と比べると難度の高い入試となることもあります。あくまでも前期試験で志望校に合格できなかった場合に利用する入試として考えましょう。

④拡大する推薦入試とAO入試



大学入試のもう1つの柱～推薦入試

「推薦入試」は一般入試に次ぐ規模の選抜方式で、全体の9割以上の大学が実施しています。また、推薦入試で大学へ入学した人は、国公立大学では15%ですが、私立大学では40%となっています。私立大学においては、一般入試と並ぶ規模の入試といえるでしょう。

推薦入試の定義は「出身学校長の推薦に基づき、原則として学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する入試」となっています。一般入試との大きな差異は、出身高校長の推薦を受けないと出願できないという点です。出願にあたっては「調査書の評定平均値〇以上」といった出願条件も設定されており、誰もが受験できる入試というわけではありません。さらに、私立大学では「指定校制」といって大学が指定した高校の生徒を対象に行われる推薦入試もあります。

また、一般入試とは違い多くの大学では、「出願者は、合格した場合は必ず入学する者に限る」専願制の入試となっています（近年、他大学との併願が可能な併願制も増えてきています）。

推薦入試を考える場合は、出願するうえで制約があることと、原則第1志望校に限った入試であることを理解しておきましょう。



国公立大学の推薦入試

推薦入試も国公立大学と私立大学ではやや状況が異なります。国公立大学は私立大学に比べて募集人員が少なく、出願条件のうち成績基準も「評定平均値4.0以上」など厳しくなっています。また、国公立大学の場合はセンター試験を課す場合と課さない場合の2タイプに大別され、その入試日程も大きく異なります。

大学での試験は「面接」「小論文」が課されることが多くなっています。学力試験を課す大学は多くありませんが、口頭試問を含んだ面接や学科に関連した専門的知識を要する小論文が課されることもあります。受験にあたっては、推薦入試向けの準備も必要です。

コラム①～国立大学の医学科で「地域枠」推薦入試が拡大

国立大学の推薦入試で近年増加しているのが、将来地元で活躍することなどを出願条件にした「地域枠」推薦入試です。

とくに医学科では、2014 年度入試で 42 大学中 28 大学が「地域枠」を設けた推薦入試を実施しました。地域によっては医師不足が深刻となっており、将来地元に残って活躍する医師の育成は各大学の課題となっています。

なお、公立大学は大学設置の趣旨上、学部を問わず対象を特定地域（県内・市内など）に絞った推薦入試を実施していることが多くなっています。

コラム②～東大が 2016 年度から推薦入試を導入

東京大学が 2016 年度入試から後期日程を廃止して、推薦入試を導入します。

東京大学が推薦入試を実施するのは創立以来初めてとなります。現在の東京大学の入試は一般入試のみで、前期日程と後期日程に分けて実施されています。後期日程では、前期日程とは異なる人材を求めるとして、教科横断型の総合問題が課されています。しかし実際には、前期日程の敗者復活戦の色合いが濃くなっているのも否めません。

東京大学では推薦入試を導入することで、一般入試の合格者とは異なる潜在的な能力をもった学生を受け入れたいとしています。推薦入試の募集人員は大学全体で 100 名と入学定員のごく一部に限られます。また、学部単位で募集するため、選抜方法は各学部により異なることになるようですが、いずれの学部もセンター試験の成績を基準点として利用します。具体的な出願要件や選抜方法は、2015 年 7 月に公表されます。



決して易しくはない国公立大学のAO入試

国公立大学のAO入試では、出願 9～10 月、合格発表 11～12 月上旬といった入試日程が一般的です。出願条件は、評定平均値といった成績基準がなかったり、高卒生でも出願できるなど、推薦入試より緩やかな場合が多いです。ただし、大学によっては「英検などの有資格者」「全国コンテストの上位入賞者」といった条件が加わっていることもあります。

選考方法は 1 次：書類審査、2 次：面接（プレゼンテーションも含む）・小論文といったタイプが一般的です。このほか、セミナーやスクーリングなどに出席してレポートを提出させるといったものもあります。また、基礎学力をはかるために、センター試験を課す大学も増えています。



私立大学の推薦入試

私立大学の推薦入試は、入学者比率が40%を占めており、一般入試と並ぶ私立大入試の大きな柱といえます。

私立大学の出願要件は国公立大学ほど厳しくなく、なかには成績基準を設けない大学もあり、とくに中部・関西地方ではその比率が高くなっています。選抜方法は、小論文や適性検査、面接、基礎学力試験、調査書等の書類審査をさまざまに組み合わせて選考されています。冒頭で述べた、推薦入試における学力検査の免除はそれほど徹底されておらず、適性検査、基礎学力検査といった名目で学力選抜が行われている大学も目立っています。



さまざまなタイプの推薦入試

私立大学の推薦入試では、一般入試と同様に多様な選抜が実施されています。その代表格が「自己推薦」と「スポーツ推薦」です。自己推薦は、能力・意欲・特技などを受験生自身がアピールして評価してもらうシステムです。多くが出身高校長の推薦を必要としない代わりに「自己推薦書」の作成・提出が必要となります。スポーツ推薦は、その名称の通りスポーツに秀でた学生の獲得を目的とした入試で、出願にあたっては高校時代の競技成績が基準となります。

ほかにも、資格・技能をもつ受験生を優遇する「有資格者推薦」や、生徒会活動や社会・地域奉仕活動、芸術・文化活動で活躍した人を対象にした「課外活動推薦」などが実施されています。

コラム～評定平均値と学習成績概評

評定平均値は履修した全科目の評定を平均したもの。この評定平均値をもとに、高校3年間の成績をA～Eの5段階で表したものが学習成績概評です。評定平均値と学習成績概評の関係は、評定平均値 5.0～4.3 がA、4.2～3.5 がB、3.4～2.7 がC、2.6～1.9 がD、1.8 以下がEとなります。なお、Aのなかでも特に学校長が優秀と認めた生徒にはⒶを標示することができます。国公立大学の推薦入試のなかには出願条件としてⒶの者に限定しているところもあります。

メモ

第3の入試「ＡＯ入試」

ＡＯ入試は比較的最近登場した入試です。「ＡＯ」はアドミッション・オフィスの略で、もともとはアドミッション・オフィスという専門の部署が選抜していたことからＡＯ入試とよばれています。アメリカではポピュラーな入試ですが、日本では歴史が浅く、1990年に慶應義塾大学が導入したのが始まりといわれています。選抜する側の負担が大きいこともあって、当初はなかなか広まりませんでした。ＡＯ入試が急速に拡大してきたのは2000年頃からで、現在では一般入試、推薦入試に続く3番目の選抜方法として定着しています。

ＡＯ入試では、エントリーシートなどによばれる受験生からの提出書類をもとに、面接を繰り返し実施し、じっくりと時間をかけて学生の意欲、適性を判断します。大学によってはさらに論文やプレゼンテーションなどを課し、受験生の適性・学習意欲などを総合的に評価します。従来の入試方式と比べると、「高い学習意欲」「学びへの明確な目的意識」が選抜基準として重んじられているため、選抜方法もその点が判断できるような内容となっています。出願時に受験生自身が作成して提出する書類が多いことも特徴です。

ＡＯ入試は一般入試や推薦入試に比べると、大学も選抜に時間をかけており、受験生側にも労力がかかります。また、出願時に提出するものも多岐にわたる場合が多く、事前準備が他の選抜以上に多いことも特徴です。受験を考える人は早い時期からの対策が必要となります。

私立大学のＡＯ入試は対話型が多い

私立大学のＡＯ入試は、一部で夏からエントリーが始まる大学もありますが、一般的には9月以降に本格化し、推薦入学の始まる11月初旬までに結果が判明するという入試日程になっています。また、年間を通じて複数回入試を実施する大学も少なくなく、3月まで募集が続くこともあります。

選抜方法はバラエティーに富んでいて、同じＡＯ入試という名前でも大学によりかなり違いがあります。難関大学では、国公立大学と同様に1次：書類審査、2次：小論文・面接というパターンが一般的で、加えてセミナーやスクーリングの実施、プレゼンテーション、グループディスカッションなどを組み合わせ、時間をかけた選抜方法を取り入れています。書類審査は厳しく、出願者の多くがここでふるい落とされます。出願要件も全体的に厳しく、学力や傑出した能力が重視されるケースも多くみられます。

一方、多くの大学で行われているのが対話型のＡＯ入試です。エントリー後、事前面談、予備面談なども含めて複数回面談を行い、出願許可されると合格内定を得ることができます。このタイプのＡＯ入試は、出願時の学力よりも、大学・学部への適性や学ぶ意欲が重視されます。

ＡＯ入試は早期に合格が決まるため、早い時期に志望校を決定しなければなりません。また、その入試の趣旨から出願校＝第1志望校となりますので、安易な受験は禁物です。自分の進路・適性をしっかりと考えたうえで受験しましょう。



⑤近年の受験環境



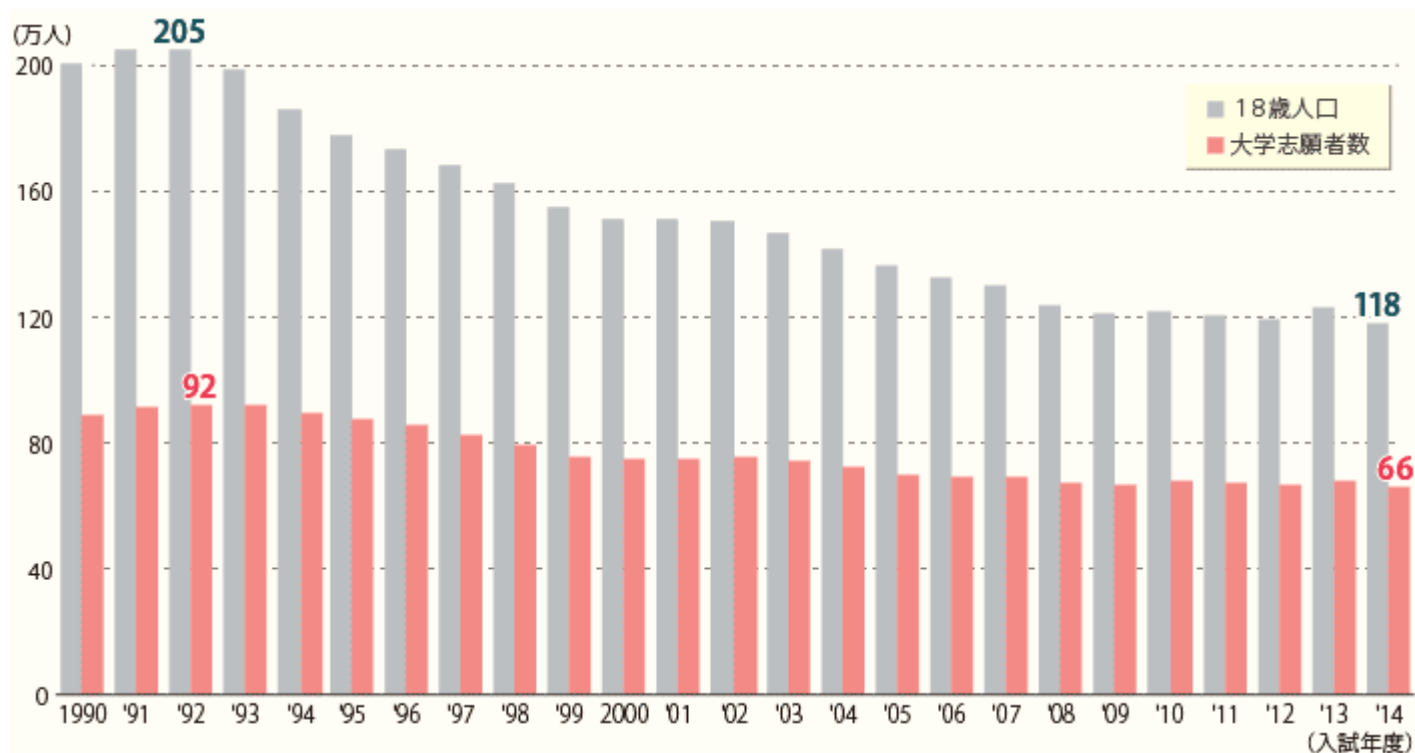
少子化の時代、受験生は減っている？

下のグラフは18歳人口とその年の大学志願者数の推移をみたものです。18歳人口は、1990年代の前半には200万人を超えていました。その後、少子化が進み18歳人口は減少を続け、2014年には118万人にまで減少します。ピークであった1992年と比較すると、4割以上の減少となります。

一方の大学志願者数をみると、1992年には92万人から、2014年には66万人とこちらも減少しています。しかし、減少率は3割未満にとどまっており、「18歳人口の減少ほど大学志願者は減っていない」といえます。これは、かつてと比べると高校卒業後に大学進学を志望する人の割合が高まっているためです。

「少子化」「大学全入時代」といった言葉をよく耳にすることから、毎年のように受験生が大きく減っているようなイメージがあるかもしれません。しかし、大学志願者数は2006年に70万人を割って以降は60万人台後半で推移しています。先行するイメージほど大学志願者数は大きく変わっていません。

18歳人口と大学志願者数の推移



※学校基本調査より（2014年度大学志願者数は河合塾推定値）



大学・学部の人気は時代によって変わる

ここ数年の入試で顕著なのは、不況を背景にした国公立大学志向、地元志向などです。国公立大学の志願者は受験人口の減少に加えて、2004年度に国立大学のセンター試験利用科目数が増加したことか

ら、大きく減少していました。しかし、2008 年秋に起こったリーマンショックをきっかけに景気が低迷し、国公立大学の志願者数は増加に転じ、以降も国公立大学の人気は安定しています。国公立大学は私立大学に比べて学費が安いことなどから、不況時には人気となるのです。

一方、私立大学では 2008 年度頃をピークに、都市部の全国区の大学に人気が集集中、都市部にあるたった 21 大学の志願者数がその他の 500 を超える大学の志願者数を上回るという状況が見られました。その後、こちらも不況によって受験生の地元志向が鮮明となり、現在では再び地方の大学の志願者数が上向きとなって一部の大学への志願者集中は緩和してきています。一方で、全私立大学の半数近くが定員割れを起こしているなど、私立大学では大学間の差が激しいのも事実です。

学部系統の人気にも変わっています。2006～2008 年頃は大手メーカーが好業績で、大学生の就職状況もよかった時期でした。この頃人気があったのは経済系や工学系でした。2008 年秋のリーマンショック後、大学生の就職も厳しくなっています。近年人気なのは、理系と資格に直結する学部です。とくに医師、薬剤師など医療系の学部・学科で志願者の増加が目立ちます。

このように大学・学部の人気は社会情勢の変化にも大きく影響されるのです。

⑥大学で何を学ぶ？



学部研究に取り組もう

受験勉強と並行して早くから取り組みたいのが「学部研究」です。志望学系をある程度固めておかないと、志望校を絞り込んでいくのが難しくなるからです。現在の大学入試は学系によって課される科目・出題範囲が大きく異なります。志望学系を決めるのが遅いと、受験勉強の取りかかりが遅くなります。また、受験に対する目的意識がはっきりしないとモチベーションも上がってこないでしょう。3年生の夏休みが明けるとAO入試が活発に行われていますし、秋には推薦入試も控えています。これらの受験を考える場合、遅くとも3年生になる頃には志望学系を固めておきたいものです。

そうはいつでも「なかなか志望する学部が決められない」という人も多いかもしれません。しかし、大学は「学問を探究する場」です。安易に受験して「こんなことは自分のやりたいことではなかった」「全く興味が湧かない」と入学後に後悔しないようにしたいものです。

大学の学部・学科には医療系学部や教員養成系学部のように、大学卒業後の職業と学問とが直結しているものもありますが、それ以外の学部では「大学での学び」と卒業後の進路とが必ずしも密接な関係にあるわけではありません。「自分の将来像」や「希望する職業」がはっきりしないということであれば、大学へ進学した後に自分の可能性を探るのもいいかもしれません。その意味では「何を学びたいのか」が学部選択のポイントになるのではないのでしょうか。

自分の「興味・関心」「得意科目」などから、大学4年間で「探究したい学問」を絞り込んでいくとよいでしょう。



多様化する大学の学部

近年、各大学が積極的に取り組んでいるのが「学部の新設・再編」です。

高齢社会の到来で、「健康・福祉」「医療・看護」領域の社会的ニーズが高まっています。こうした時代のニーズを受け、近年新設された大学や学部をみると、医療、健康、スポーツに関連したものが多くなっています。

また、国際化、情報化、多様化といった言葉に象徴される社会の変化にともない、学問分野においても、従来の枠にとらわれない複数の領域にまたがった知識や視野が必要となっています。こうしたなか、従来の学部や学科を再編する大学が増えています。例えば、理工学部を「都市環境工学部」「デザイン工学部」「医療工学部」「生命科学部」といった、より専門に特化した学部へ再編した例もみられます。

このように新しく設置された学部や学科には、従来にはあまり見られなかった名称も出てきました。2013年度の大学の学部数は、約500種類あります。1990年度には約100種類でしたから、20年あまりで5倍になりました。「コミュニケーション」「マネジメント」「ヒューマン」「リベラルアーツ」といったカナ名の学部・学科も多く、名称だけでは具体的な学問内容が分かりにくいものもあります。また、「国際○○学部」など、よく似た名称であってもカリキュラムは全く異なるケースも多々みられます。その意味ではかつてと比べると学部・学科研究の重要性は増しているといえます。

興味のある大学については、大学案内や大学のホームページ等をみてカリキュラムや研究内容を比較するとよいでしょう。

⑦オープンキャンパスに行こう！



パンフレットでは伝わらない大学の雰囲気味わおう

「自分に合った大学を見つけたい」。

そう思って、大学のホームページやパンフレットを見ても、なかなかイメージが掴めないことも多いでしょう。そこで、受験生に大学生気分を味わってもらおうと大学が企画しているのが「オープンキャンパス」です。オープンキャンパスは、大学がキャンパスを受験生などに開放し、見学会や入試説明会などを実施するイベントです。情報誌やパンフレットからでは伝わりにくい大学の魅力を直に体験できます。

大学に行ってみると、大学ごとに雰囲気が違うことが実感できます。ある程度、志望校が固まってきたら、ぜひその大学に足を運んでみましょう。授業やサークルを楽しむ先輩の様子は、受験勉強の励みにもなるはずです。



見るポイントは事前に決めておく

オープンキャンパスの開催時期は主に7～11月。通年で実施していても、大規模なものは夏休みや大学祭にあわせて実施されるケースが多いようです。ぜひ機会をみつけて参加したいものです。

オープンキャンパスに行く前には、事前に大学の情報を集めておきましょう。入試方式やカリキュラムなどホームページを利用して下調べをしたり、大学案内で予習をしておくといいでしょう。その大学の学生や先生と直接話せるせっかくのチャンスなので、聞きたいことはあらかじめまとめておきましょう。

オープンキャンパスに行った後は、オープンキャンパスで得た情報を自分なりにまとめておくといでしょう。いろいろな大学のオープンキャンパスに行けば比較もできます。あこがれのキャンパスをひと足先に体験して、あなたの希望にあった大学をみつけてください。



オープンキャンパスの歩き方

☆先輩や先生のガイドで「キャンパスツアー」を体験！

オープンキャンパスで必ず実施されているのが、大学の学生や先生が案内してくれる「キャンパスツアー」。初めて訪れた大学では、何をどこからを見たらいいのかわからないですよね。そんなあなたを、詳しい説明付きで案内してくれるはずです。パンフレットでは分からない大学の雰囲気が掴めること間違いなしです。

☆「体験授業」で大学生気分を！

「大学ってどんな授業をしているの?」「何を研究しているの?」。そんな疑問を解決してくれるのが「体験授業」。広い大教室で先生の講義を聴いたり、実験やモノづくりに参加したりして大学生気分を味わってみましょう。

オープンキャンパスに行ったら、絶対に参加しておきたいのが「進学説明会」。入試出題者による問題解説や予備校講師による学習法アドバイスなど、大学によって形はさまざまですが、参加者限定のおトクな情報が得られます。過去の入試問題が配布されることもあります。説明会に参加したら、自分なりに要点を掴んで受験勉強に役立てましょう！

学生の憩いである学生食堂、おしゃれな造りになっている大学も多くあります。楽しいキャンパスライフを過ごすうえで、学食ランチのチェックも欠かせません。最近はメニューも工夫され、「安いけれどおいしくない」イメージは過去のものようです。友達とワイワイおしゃべりしたり、一緒に勉強したりと過ごす時間も長い学生食堂は、必ず見ておきたい場所の1つです。

大学内の売店をのぞいてみると、文房具や小物などに大学のロゴを入れたオリジナルグッズなどが売られています。なかにはオープンキャンパス参加の記念品として、オリジナルグッズを配布してくれる大学もあります。大学のオリジナルグッズを手にとると、不思議とヤル気もアップします。オープンキャンパスに参加したら記念に大学グッズを入手してみるのもいいかもしれませんね。

春休みにオープンキャンパスに行きたい
どうやって調べれば分かるの？

大手の予備校や大手学習通信講座などが運営している大学入試情報サイトは、総合的な情報が充実している。オープンキャンパス情報を掲載していることが多い。

<http://www.keinet.ne.jp/>

大学入試情報の総合サイトで調べた場合も、必ず大学に問い合わせるか、大学固有のオンラインサイトで詳細を確認すること。

25

⑧受験や大学生活っていくらかかるの？

大学進学にはどのくらいの費用がかかるのでしょうか？必要となる費用やその負担を減らす奨学金の制度について早めに知っておきましょう。



意外とかかる受験費用

センター試験の受験料は1万8,000円（3教科以上の受験の場合／2教科以下は1万2,000円）。国公立大学2次試験は1万7,000円、私立大学の一般型は約3万5,000円となっています。たとえば、国公立大学2校（前・後期）と私立大学2校を受験すると、受験料だけで約12万円が必要となります。さらに遠方の大学を受験する場合には、交通費や宿泊費も必要になってきます。

このように受験費用は結構な出費となるのです。



大学入学後にかかる費用

入学決定後に大学へ支払う費用は、いくつかの種類に分かれています。入学時に支払う「入学金」、年間の「授業料」のほか、「施設設備費」「実験実習費」といった施設使用や実験・実習に伴う費用があります。このほか、「後援会費」「学会費」「保険料」などの名目で任意に徴収されるものもあります。

国立大学標準額

	授業料	入学金	合計
昼間部	535,800 円	282,000 円	817,800 円
夜間部	267,900 円	141,000 円	408,900 円

※上記は文部科学省令で定める「標準額」

※このほか大学により設備費・実習費・保険料等が必要な場合がある

メモ

2013 年度私立大学初年度学生納付金平均額

		授業料	入学料	施設設備費	実験実習費	その他	合計
文科系	文・教育	758,724 円	251,225 円	174,224 円	12,859 円	70,661 円	1,267,694 円
	神・仏教	713,367 円	229,454 円	160,237 円	2,005 円	39,897 円	1,144,959 円
	社会福祉	743,443 円	228,944 円	197,542 円	14,754 円	54,355 円	1,239,037 円
	法・経・商	731,934 円	245,457 円	147,469 円	8,530 円	61,131 円	1,194,522 円
	平均	742,478 円	246,749 円	160,019 円	10,430 円	64,286 円	1,223,961 円
理科系	理・工	997,571 円	252,338 円	167,825 円	68,013 円	65,967 円	1,551,713 円
	薬	1,428,922 円	350,424 円	290,255 円	34,654 円	69,871 円	2,174,126 円
	農・獣医	877,860 円	256,268 円	203,718 円	108,804 円	87,412 円	1,534,062 円
	平均	1,043,212 円	265,595 円	187,236 円	67,397 円	68,462 円	1,631,903 円
医歯系	医	2,558,609 円	1,296,299 円	1,065,206 円	287,120 円	1,962,703 円	7,169,938 円
	歯	3,103,598 円	608,764 円	531,734 円	2,272 円	1,207,196 円	5,453,564 円
	平均	2,764,631 円	1,036,391 円	863,538 円	179,439 円	1,677,099 円	6,521,098 円
その他	家政	785,039 円	268,938 円	215,163 円	58,966 円	80,450 円	1,408,557 円
	芸術	1,112,178 円	258,431 円	286,364 円	41,001 円	82,320 円	1,780,294 円
	体育	781,789 円	267,804 円	212,237 円	46,000 円	88,714 円	1,396,545 円
	保健	990,783 円	281,970 円	244,857 円	124,467 円	57,059 円	1,699,136 円
	平均	946,556 円	271,318 円	244,073 円	78,559 円	72,823 円	1,613,330 円
全平均		860,072 円	264,390 円	188,063 円	34,903 円	86,753 円	1,434,182 円

※文部科学省資料より

※金額は昼間部 1 人当たりの額。一元未満を四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合がある

※医学部看護学科は「医」区分に含まず、「保健」区分に含める

表をみても分かるように、大学入学後にかかる費用は、国公立大学と私立大学で大きな差があります。国立大学では法人化後、入学金・授業料はそれぞれの大学が独自に決められるようになりましたが、2014 年度学部入学生では、一律、文部科学省令で定められている「標準額」となっています。

公立大学の授業料も国立大学の「標準額」に沿った大学が多くなっています。特徴があるのは入学金で、大学が設置されている都道府県内（または市内）出身者は割安となるように設定されている大学がほとんどです。

国公立大学の場合、入学金・授業料にほとんど差はありませんが、その他の「施設設備費」「実験実習費」などを含めた諸会費の徴収の有無については差があります。

私立大学の初年度納付金の平均額は 150 万円弱となっています。ただし、私立大学の場合は学部系統によって金額にかなり差があります。実験や実習が比較的少なく、施設・設備費がかからない文系は安く、医学部や芸術系学部など高額な設備が必要な学部系統ほど学費やその他諸費は高くなっています。

なお、学費の決定に際し、消費者物価指数に応じて額を変動させる「スライド制」を採っている大学も多く、こうした大学では、在学中に授業料が変動する可能性があります。



大学生活にかかる費用

大学での生活費は、自宅から通える大学に行くか、親元から離れて大学生活を送るかによって大きく変わってきます。

これは安めに見積もってあるように見えます。もっと掛かると考えてよいでしょう。

1ヶ月の生活費

項目		自宅生	自宅外生
収入	仕送り・お小遣い	8,200 円	62,500 円
	奨学金	9,700 円	23,000 円
	アルバイト	34,000 円	28,600 円
	定職・その他	400 円	1,000 円
	収入合計	52,300 円	115,100 円
支出	食費・外食費	11,100 円	25,400 円
	住居費	400 円	48,800 円
	交通費	4,500 円	3,100 円
	娯楽費（嗜好品代・レジャー・交際費など）	8,600 円	7,800 円
	書籍費	2,300 円	3,500 円
	勉学費	1,500 円	1,800 円
	日常費（生活用品代・衣料品代など）	4,000 円	5,100 円
	通信費（携帯電話・インターネット通信費含む）	1,800 円	3,900 円
	その他（貯蓄・繰越を含む）	10,000 円	11,800 円
	支出合計	44,200 円	111,200 円

※2014 年度 K e i - N e t 特派員アンケートより

※金額は平均値で、10 円単位で四捨五入

表は、大学生の1ヶ月の生活費をまとめたものです。自宅外生（一人暮らし）の仕送り額は月々約6万3千円、また支出は月々約11万円となっています。

不況の影響か、仕送り額は年々減少しています。また、自宅生、自宅外生ともにアルバイト収入も減少しています。その穴埋めをするように、奨学金の収入に占める割合が高くなってきています。自宅外生の支出額も減少しています。とくに目立つのが食費で、外食を控えて自炊に切り替えるなど、食費を抑えることでやり繰りしている様子が見えます。

メモ



奨学金制度を活用しよう

大学生になるにも、大学生活を送るにもお金がかかります。そんなとき頼りになるのが奨学金です。不況の影響で、近年、奨学金の利用を希望する人が増えています。これに呼応するように、大学独自の奨学金制度もよく見られるようになりました。それぞれ支給対象となる資格や条件が違うので、よく見極めて自分にあった奨学金制度を検討しましょう。

奨学金制度は、経済的な制約で将来への希望を断念することがないように設けられています。上手に利用して自分の夢をかなえてください。

日本学生支援機構奨学金 <http://www.jasso.go.jp/>

奨学金制度のなかで最も一般的で、2012 年度では約 132 万人の学生（大学院生・短大生・高等専門学校生も含む）が利用しています。不況の影響で申込者・利用者ともに増加傾向にあります。この奨学金は貸与制（大学卒業後、お金を返済しなくてはならない）で、学業成績と経済状態の2つの基準を満たしていることが採用の条件となっています。無利子で貸与される「第一種」と、有利子の「第二種」の2種類があり、基準を満たせば両者の併用も可能です。

申込みは進学した学校を通して行い、募集は原則春に行われます（在学採用）。また、進学の前年に奨学金を予約することもできます（予約採用）。予約採用を希望する場合は、高校の先生（高卒者は出身高校）や日本学生支援機構に早めに相談しておくといでしょう。

どこに住む？ 〈コラム by Rikkyo Sensei〉

ご両親が海外に赴任したまま、自分は日本で大学生活…、地元を離れて別の地域の大学へ進学して、一人暮らしに…どんなところに住むかを考えなくてはなりません。アパートやマンションなどの一人暮らしは大学生生活の憧れですが、家族や学校で今までやってもらっていた食事の用意、洗濯、掃除などの細々とした生活の仕事のことを考えると、時間がとられて大変そう。また生活の安全、病気になったときに一人ですと心配です。

ひとつは大学の寮。今はどこの大学も、綺麗で新しく、居心地のいい、設備の整った寮を持っています。留学生も一緒に住んでいることが多く、国際交流の場所にもなります。ただ、全学生を対象とするほどのキャンパスティはありませんし、平均から見れば寮費は安いこともあって、どうしても抽選や両親の年収などを基準にした選抜になります。

ほかに考えられるのは、学生会館。特に国公立・私立が集まる東京では幾つかあります。学生会館は様々な大学に通う生徒たちが居住します。基本的に個室で、門限が決まっているところもあり、バス・トイレがついていたり（共同のところも）、小さなキッチンのほかレストランもしくは賄いのサービスがあったり、ピアノ室・テニスコートなどを併設したところもあります。他大学に通う学生たちと知り合えるところも良いところ。住居費はちょっと高いかもしれませんが、誰かが傍にいてくれる生活は安心です。

総合検索サイト

学生会館 Guide <http://www.gakuseikaikan.com/>

学生会館.com <http://www.gakuseikaikan-tokyo.com/>

たとえば、

北園女子学生会館 <http://www.kitazono-j.co.jp/>

市ヶ谷女子学生ハイツ <http://www.ichigaya-jgh.jp/index2.php/>

もし学生会館への入居を考える場合には、事前に機会を利用して、見学に行くことを勧めます。部屋・設備、学生の雰囲気も気になりますが、何よりもセキュリティが大事。また周囲の環境…通学に往復する住環境は大丈夫か、スーパーや医療機関などはあるかなども含めて見ておくといでしょう。

日本学生支援機構 奨学金制度（2014 年度入学者用）

	第一種奨学金 (所得連動返還型無利子奨学金を含む)			第二種奨学金		
貸与月額	国公立	自宅	45,000 円	3 万円・5 万円・8 万円・10 万円・12 万円から選択 (私立大の医・歯学課程は 16 万円、 薬・獣医学課程は 14 万円を選択可能)		
		自宅外	51,000 円			
	私立	自宅	54,000 円			
		自宅外	64,000 円			
	※国公立・私立、自宅・自宅外にかかわらず 3 万円を選択することも可能					
成績基準	高校 2～3 年の学業成績の評定平均値 3.5 以上 (予約採用の場合は 高校 1 年から申込時までの成績)			下記のいずれかに該当する者 1. 高等学校等における学業成績が平均水準以上の者 2. 特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者 3. 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者		
(給与所得の場合) 家計基準	予約採用					
	846 万円以下			1,171 万円以下		
	在学採用					
	国公立	自宅	907 万円程度	国公立	自宅	1,159 万円程度
		自宅外	951 万円程度		自宅外	1,203 万円程度
	私立	自宅	955 万円程度	私立	自宅	1,207 万円程度
		自宅外	998 万円程度		自宅外	1,250 万円程度
利息	無			年 3.0%上限*		

※家計基準は標準 4 人世帯の場合。家計支持者の年収・所得金額（税込み）の上限額の目安

*第二種奨学金の利率は、「利率固定方式」と「利率見直し方式」のいずれかを選択

その他の奨学金制度

都道府県や市町村など地方自治体でも多くの奨学金制度が実施されています。ただし、対象はその奨学金団体所在地に居住する者、またはその子弟に限られることがほとんどです。募集人数や支給金額、「給与制」（返済義務がない）か「貸与制」（返済しなければならない）かは、各団体によってさまざま、日本学生支援機構など他の奨学金との併用が認められないケースもあります。申し込みも大学が窓口になるものや直接教育委員会などに申し込むものなどがあります。

希望する場合は、なるべく早い時期に在住地区の教育委員会等に問い合わせ、確認しておくようにしましょう。

また、独自の奨学金制度を持つ大学も多くあります。募集時期、選考基準、給与・貸与などは各校さまざまですが、成績優秀、品行方正といったことを条件としているところが一般的です。一つの大学のなかに数種類の制度が設けられていることもあり、採用方法としては、入学してから選考する場合と、奨学金のための選抜試験（給費・特待生入試）を行う場合の大きく 2 つに分けられます。給費・特待生

入試は、一般入試に比べると競争率が高くなることが多いですが、志望する大学にこの制度があれば積極的に利用したいものです。

なお、最近では「予約採用型奨学金」制度を設置する大学も増えてきました。これは入試の前に奨学金を希望する受験生を募集し、あらかじめ奨学金の採用候補者とする制度です。採用候補者は入試で合格して入学手続きをすることで、正式に奨学金支給の対象者となります。この制度を利用すれば、受験生側も事前に奨学金採用の可否がわかり、安心して受験することができます。

大学独自奨学金制度の例（2014 年度入試）

大学名	学部名	方式・制度	特典・出願資格・選抜方法	
お茶の水女子大	全学部	みがかずば奨学金	特典	1・2年次各 30 万円
			選考	以下の資格を満たす者（採用者数 25 名） ・現役生の入学予定者で、強く入学を志望する者（受験は一般入試、AO入試、推薦入試、高大連携特別入試のいずれでも可） ・成績・人物とも優秀（調査書の学習成績概評がA以上の者）で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者 ※奨学金の申請は9月上旬～中旬、審査を10月に行い奨学金の内定を通知（奨学金の内定は合格を保証するものではない）
東京大	全科類	授業料免除	特典・選考	1年次は入学者のうち総所得金額が218万円以下（給与収入400万円以下）の場合、授業料が全額免除となる。2年次以降も定められた成績基準を満たせば継続可能。申請手続き等の詳細は、第2次学力試験当日に配付される「入学手続要領」に示される
東京学芸大	教育	教職特待生制度	特典	1. 入学金および在学期間中（4年間）の授業料を免除 2. 教職奨学金（年額40万円を貸与、卒後教職に4年間ついた場合返還を免除） 3. 学寮へ優先入寮および寄宿料免除 4. 学生必携のノートパソコンを在学期間中無償貸与 5. 学内で行う教育関連のアルバイト等を紹介
			選考	教員養成課程に修学する学生で下記の条件を満たす者（10名以内） ・将来教員になろうとする強い意志を有する者 ・家庭の年収が概ね300万円以下 ・一般選抜前期日程合格者かつ調査書の学習成績概評がA以上 ・出身高校の校長（又はそれに準じる者）の推薦書がある者
広島大	全学部	フェニックス奨学金制度	特典	入学料と在学中の授業料全額免除および奨学金給付（月額10万円）、本学大学院に進学した場合は、奨学生として継続支援
			選考	学力が優秀でありながら経済的理由により進学が困難な一般入試（前期）・AO入試（総合評価Ⅱ型）の受験者のうち、以下の基準を満たす者（10名程度） 1. 大学入試センター試験成績が、志願する学部・学科の大学入試センター試験配点合計の80%以上 2. 経済的困窮度の基準 前年（平成25年1月～12月分）の総収入金額を対象とし、世帯員全員の年収・所得の合計金額から定められた特別控除額（家族構成、家庭事情等により異なる）を差し引いた金額が、本学で定めた収入基準額以下であること
自治医科	医	修学資金貸与制度	特典・選考	入学者全員に対して入学金など学生納付金を貸与 ※大学卒業後、引き続き、第1次試験の試験地の都道府県知事が指定する公立病院等に医師として勤務し、その勤務期間が修学資金の貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間（その勤務期間のうち2分の1は、知事が指定するべき地等の指定公立病院等に勤務する）に達した場合は返還を免除

慶應義塾大	全学部	学問のすゝめ 奨学金	特典	年額 60 万円（医学部は 90 万円、薬学部薬学科は 80 万円）を給付。毎年申請・審査により 2 年目以降も継続受給が可能
			選考	入学を強く志望する日本国内（東京・神奈川・埼玉・千葉以外）の高校等出身者で、人物および学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により入学に困難を来している受験生の中から学業成績、家計支持者の年収関連、推薦内容等に基づき候補者を決定。学部を問わず地域ブロック単位で実施 北海道・東北、北関東・甲信越ブロック…各 12 名 北陸・東海ブロック…21 名 近畿ブロック…19 名 中国・四国ブロック…28 名 九州・沖縄ブロック…15 名 （人数は採用候補者数）
早稲田大	全学部	めざせ！都の 西北奨学金	特典	年額 40 万円を支給（4 年間）
			選考	首都圏以外の国内高校出身で評定平均値 3.5 以上、家計支持者の「最新の所得証明書」記載の収入・所得金額が給与・年金収入金額（課税前）800 万円未満の者、または、事業所得金額が 350 万円未満の者のうち、一般入試またはセンター利用入試の出願前または出願期間中に奨学金を申し込んだ者が対象。書類審査に基づき採用候補者を決定する。採用候補者は、上記入試に合格・入学することで正式採用となる（1,200 名程度）
立命館大	全学部	入学試験 受験前 予約採用型 奨学金	特典	年間授業料の 50%相当額（入学金を除く）を給付。（薬学部以外は 4 年間、薬学部のみ 6 年間）
			選考	一般入学試験（センター試験方式を含む）を受験する国内の高等学校（通信制を除く、中等教育学校後期課程を含む）出身者のうち評定平均値が 3.5 以上で、2012 年父母の年間収入の合算金額が給与・年金収入金額（課税前）の場合は 600 万円以下、その他事業所得金額の場合は 197 万円以下の者（採用候補者数 400 名以内）

※特典：特典の内容、選考：採用人数・出願資格・選抜方法等

このほか、民間育英団体による奨学金制度や新聞社を母体とする新聞奨学会が運営している新聞奨学金制度などがあります。

地方公共団体の奨学金

都道府県や市町村など地方公共団体が実施している奨学金制度です。その地域に本人または保護者が住んでいることが条件になります。採用人数が少ないのが難点で、ほかの奨学金との併用を認めないこともあるので注意しましょう。

民間育英団体の奨学金

企業や個人の設置する奨学金で、応募基準・条件などは制度ごとに異なります。支給方法や支給金額もさまざまです。募集窓口は大学となっていることが多いので、自分の志望校で受けられるか確認しておきましょう。

メモ

2015 年度入試はまだ終わっていません。2015 年 4 月に入学する大学生向けの大学入試の分析はこれからです。この分析は、2016 年度入試を受験する皆さんの対策となるもの。夏ごろに最初のまとまった分析が出ますので、予備校・受験雑誌などを通じて入手するようにしましょう。

ひとまず 2015 年度入試を受けた、高 3 の先輩方が入手していた傾向をまとめてみます。

2016 年度入試から、「新課程カリキュラム」の入試

2015 年度の高校 3 年生は、高 1 から新課程で勉強してきた学年。浪人生は旧課程での学習者として、新課程の大学入試を受験することになります（新過程履修者と同じように受験しますが、旧課程履修者にも配慮した試験構成になる予定であることが発表されている）。

国公立大学の一般入試後期日程を廃止する大学が増えてきている

一般に、国公立大学一般入試は前期・後期日程の 2 回の受験機会があります。一部の大学は中期日程というものもあります。しかし、後期日程を廃止する大学が少しずつ増えてきました。受験のチャンスは本当に 1 回だけのところもあります。よく確認しよう。

以前は全くなかった『国公立大学の推薦・AO 入試』が少しずつ増えている傾向にある

秋・初冬に面接試験などを行い、1 月の大学センター入試の結果と合わせて合否を判定する傾向が続いています。

次の年の大学募集は、一般に初夏（5～6 月）ごろの発表です

次の年の大学受験用の赤本は、一般に夏ごろに出版予定です

私立大学の出願で、インターネットを利用した出願が増えてきている

上智大、東洋大、中京大、近畿大、成城大、神奈川大などが、紙媒体での出願を全面的に廃止し、ネット出願に完全に移行しました。また法政大、国学院大などがネット出願を導入しています。ネット出願では、これに伴う検定料割引制度を利用する大学も増えてきています。

ネット出願は、手書きで作成される出願書類に必要な手間や、郵送に伴う時間的制約を解消できるメリットがありますし、大学側の処理コストを削減できるメリットも大きいので、2016 年度入試も増えるものと予想されます。

私立大の推薦・AO 入試は、中堅以上は廃止・縮小へ、下位校は拡大へ

私立大の下位校は、入学者確保のために推薦・AO 入試の選抜方式や募集人員を拡大する傾向があります。

私立大の中堅以上の大学では、推薦・AO 入試の募集を取りやめたり、複数あった方式を縮小したりするところが増えてきています。2015 年度は、立教・文、中央大・総合政策、法政大、グローバル教養、立命館大・情報理工、関西学院大・理工（生命科学）などが廃止、もしくは縮小しました。

私立大のセンター利用入試は増える傾向にある

一部の大学ではセンター利用入試の参加を取りやめています。総合的に見ると、センター利用入試に参加する大学は増えてきており、2015 年度入試は 525 大学となっています。

センター利用入試の受験のポイント

「センター利用入試」は、私立大学だけが対象です。大学センター試験を受験し、A 大学・B 大学にセンター利用入試として出願すれば、センター試験の結果のみで合否が判定されます。簡単に言ってしまうと、「センター試験を受けて、複数の大学の合否を判定してもらえ」わけです。もちろん、全ての大学が対応しているわけではなく、センター利用入試で受けられない大学・学部・学科がありますので要注意。

そして、センター利用入試には注意ポイントがあります。その①、センター利用入試は募集定員が少ない。受かりやすい倍率ではありません。その②、倍率が高いのでセンター試験の結果が、受験する大学のレベルと比較してよっぽど良い場合を除いて、なかなか合格しません。つまり、「挑戦圏の大学に出願しても受かりにくい」のです。自分の実力と均衡の大学でも難しいでしょう。センター利用入試は「滑り止めの大学を確保する」ために受けるのがベスト。頑張らないといけない大学に力を傾け、滑り止めの大学に使うエネルギーをセンター利用入試で確保する時に利用できます。ただし、くれぐれも自分の実力と受験する大学の選択を誤りなくするように。

推薦入試・AO 入試を考える前に

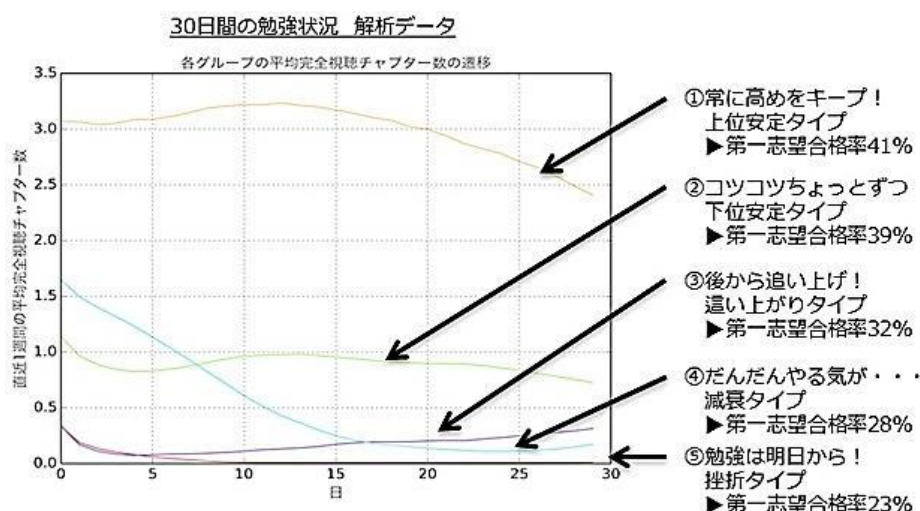
国公立大でも私立大でも、推薦入試・AO 入試を取り入れる大学が増えてきています。立教英国学院でも受験する先輩たちを見てきていると、「大体挑戦するもの」と思いがちですが、ちょっと違います。次のことに注意しましょう。

- ①指定校推薦：成績や資格、活動などに一定の業績が認められる生徒であることが必要であり、学校長の推薦が必要です。出願すると、他の大学を受験することはできません（大学から不合格が通知された場合は、不合格発表後に可能）。
- ②公募推薦：大学側が提示した一定の評定平均値、条件をクリアしていれば、出願ができます。小論文、面接試験などがあるところがほとんど。国公立大では募集人員が少なく、非常に狭き門。私立大は比較的緩やかですが、必ずしも合格するものではありません。併願受験ができるかどうかは、大学の募集要項を確認すること。
- ③AO 入試：今もっとも注目されているタイプの入試のひとつ。大学からアドミッション・ポリシー（大学が求める学生像）が提示され、小論文や面接試験などによつての受験です。高校時代の業績や特技、取り組みなどが評価の対象となり、また志願者の意欲や展望、そして適性が求められます。必ずしも合格するものではありません。併願受験ができるかどうかは、大学の募集要項を確認する必要がありますが、ほとんどは可能です。
- ④ ①～③のいずれの入試も、成績の提出のほか、志望理由書を作成して提出します。大学によっては平均評定値の基準や、一定以上の英語資格などを求めているところも少なくありません。また二次試験では小論文試験や面接試験を求める大学が多くなっています。志望理由書の作成、小論文対策、面接試験などに時間をかけ、対策が必要になります。これらの試験が多い 10～11 月は受験勉強も佳境に入っている頃。この時期に、これだけの対策を行うのは大変なことです。入試チャレンジの 1 つとして受験するかどうかは、よく検討して下さい。

えっ！深夜の受験勉強は合格率を下げる？ ビッグデータで明らかに！

2014 年 11 月 4 日(火) 21 時 27 分 <http://resemom.jp/>

オンライン予備校「受験サプリ」利用者の 1 年半の計測データをもとに解析した結果、合格率の高い「上位安定タイプ」は 24 時以降勉強する割合が 8%であるのに対し、合格率の低い「挫折タイプ」は 24 時以降に勉強をする割合が 14%に上がることが明らかになった。



受験生を勉強スタイル別に 5 タイプに分けると、タイプによって第一志望校の合格率に大きな差があることが判明。高い勉強量を維持し続けるタイプの生徒がもっとも高い合格率となり 41%、次いで勉強量は少なくとも一定を継続して行っているタイプで 39%。後から追い上げるタイプ（32%）、だんだんやる気が減衰していくタイプ（28%）、などと比較すると、継続的に一定量の学習を行うことが効果的ようだ。

勉強する時間帯にも合格率に差が見られた。合格率の高い「上位安定タイプ」は 24 時以降勉強する割合が 8%であるのに対し、合格率の低い「挫折タイプ」は 24 時以降に勉強をする割合が 14%に上る。深夜の受験勉強は合格率を下げる傾向にある。

女子と男子の勉強ペースの違いを見ると、男子は「コツコツ」少しずつ、女子は「やる気満々」でスタートし、後半になるにつれてだんだんペースダウンしていく傾向が見られた。

リクルートマーケティングパートナーズが運営するオンライン予備校「受験サプリ」とビッグデータ解析の「東大松尾研究室」および「経営共創基盤」は、ビッグデータを解析し、受験生の合格率アップをサポートするプロジェクトをスタート。

「受験サプリ」が有する受験生約 28 万人のログデータをもとに、動画視聴時間・利用頻度・視聴動画の傾向などの可視化を実施し、第一志望校合格者の「受験勉強アルゴリズム」を導き出すことで、受験生の合格率アップサポート・ナビゲート機能を強化することを目指している。今回の調査結果は、受験サプリ利用者の 1 年半の計測データをもとに解析した。



大島さくら子さん

株式会社オフィス・ビー・アイ代表取締役。英語研修、語学コンサルティング、通訳、翻訳など、英語に関係する幅広い領域をカバーする。早稲田大学エクステンションセンター英語講師、Wall Street Journal Japanコラムニスト他、多くの企業で英語研修を行い、厳しくも楽しく、わかりやすいプログラムが好評を博している。「前置詞の意味と使い分けがわかるマスターブック」(バレー出版社)、「ビジネス英語4週間集 中プログラム」(ダイヤモンド社)など著書多数

「使える英語」への道は
徹底的なインプットから

数多くの企業で英語研修を実施している大島さくらさんは、「企業はもちろん、世の中全体で『本当に使える英語力』へのニーズが高まっているのを感じます」と言う。「しかし実際には、本当に英語を使いこなせている人はそれほど多くはないんですよ」

その理由は明らかだ。「日本で暮らし、仕事をしている限り、日常的に英語を使う必要があります。使える英語は、実際に使ってみなければ身に付きませんから、もしも本気で英語のスキルアップを目指すなら、英語を使う機会を無理やりなくても創り出す必要があります」

大島さんは、「英語はインプットとアウトプットの繰り返しでしか上達しません」と言い切る。「ビジネス英語には決まったフレーズがありますから、まずはそれらをしっかりと理解し徹底的にインプットします。そして、英文は必ず声に出してアウトプットの練習をしてください。それがとても重要です。日本人が英語を話せないのは、話さないからです」

当たり前すぎる真実だが、頭に入っていない英語がいきなり口から飛び出すはずもない。英語学習に近い道はないようだ。

「企業研修に赴くと、『できるつもり』になっている方も少なくありません。」

単語やイディオムは頭に入っていて、リスニングとリーディングはまず問題ない。しかし、それを発話しようとすると言葉が出てこない。メールや報告書などを書くとうまく、うまく文章を組み立てられない、などは、多くの中級者が経験していることではないだろうか。

「そのような方は、一度スピーキングやライティングなど、英語のアウトプット能力を測定する試験や検定を受けてみるといいですね。自分のレベルを客観的に知り、さらに点数を具体的な目標にすれば、やる気も継続すると思います」

英語力の伸び悩みを自覚している中級者は、学び方を少し変えるだけでも新たな気付きがあるかもしれない。

徹底的にインプットし、アウトプットを繰り返す 使える英語を身に付けるカギは 「英語で話す」時間を持つこと

いつビジネスで英語が必要になってもおかしくない時代である。しかし、いざ必要になってからあわてて学んだのでは、間に合うはずもない。普段からの準備が不可欠だ。忙しいビジネスパーソンが効率的に英語を学ぶ方法は、あるのだろうか。

中級から上級へのステップアップを目指すなら、「ある程度、負荷をかけたトレーニングが不可欠」だと大島さんは言う。しかしビジネスパーソンは日々忙しい。どう学習したらいいのだろうか。

「英会話学校に通って、強制的に英語を話す時間を作ることは、ひとつの方法です。ただし、自分はこのレベルを目指のか、英語をマスターして何をしたいのか、明確な目標を持って受講しないと、長続きしない危険性があります」

そんな時間はない、という人は、「テレビやラジオの英会話講座、あるいは録音機能を持つ電子辞書を活用して、テキストの音読を含め、毎日5分でも10分でもいいから発話してみよう」とのこと。

「会話をする相手がなくても、テニスの壁打ちのようにひとり黙々と練習し続けることで、いざというときに自然と口からフレーズが出てくるようになります」

独習する際に大島さんが推奨するのが、「自分がどれだけ話せるのかを随時チェックすること」である。

「そのひとつは、いわゆる世間話や日常会話と呼ばれる会話を、日本語と同じくらい自由にできるかどうか。つまり、雑談力だと思います。ビジネスは、基本フレーズを覚えていけばこなせることも多いのですが、ビジネスから離れた場での非公式な会話になると、途端に何も言えなくなってしまう方がいます。多岐にわたるさまざまな話題が飛び交う雑談で、その人の真の英語力が試されます」

上級者になるほど、実は日本語力が問われるのだと大島さんは言う。

「日本語で説明できないことを、英語で説明できるわけがありません。基本的な単語や言い回しを頭に入れたら、次はそれを使って自分の考えを伝える訓練をしていきましょう」

自分に合ったトレーニング法を見つけ、楽しく学び続けてほしい。その先に、必ず上級者への道が続いているはずだ。

「目標を設定し、負荷をかける。それが上級者への王道」

中級者とは上級者の大きな違いは何か。「そのひとつは、いわゆる世間話や日常会話と呼ばれる会話を、日本語と同じくらい自由にできるかどうか。つまり、雑談力だと思います。ビジネスは、基本フレーズを覚えていけばこなせることも多いのですが、ビジネスから離れた場での非公式な会話になると、途端に何も言えなくなってしまう方がいます。多岐にわたるさまざまな話題が飛び交う雑談で、その人の真の英語力が試されます」

「日本語力が高い人ほど英語力も高くなる」

中級者と上級者の大きな違いは何か。「そのひとつは、いわゆる世間話や日常会話と呼ばれる会話を、日本語と同じくらい自由にできるかどうか。つまり、雑談力だと思います。ビジネスは、基本フレーズを覚えていけばこなせることも多いのですが、ビジネスから離れた場での非公式な会話になると、途端に何も言えなくなってしまう方がいます。多岐にわたるさまざまな話題が飛び交う雑談で、その人の真の英語力が試されます」

「日本語力が高い人ほど英語力も高くなる」

中級者と上級者の大きな違いは何か。「そのひとつは、いわゆる世間話や日常会話と呼ばれる会話を、日本語と同じくらい自由にできるかどうか。つまり、雑談力だと思います。ビジネスは、基本フレーズを覚えていけばこなせることも多いのですが、ビジネスから離れた場での非公式な会話になると、途端に何も言えなくなってしまう方がいます。多岐にわたるさまざまな話題が飛び交う雑談で、その人の真の英語力が試されます」



自分に合った学び方を見つけて、継続的に挑戦しよう コツコツ学び、実力測定。 それを習慣化し上級を目指す

英語学習はインプットとアウトプットの繰り返し。
いきなり話せるようになるはずはない。それは事実だが、より効率的に、
あるいはより楽しく学ぶ方法はないだろうか。
最新の英語学習法や学習ツールについて、その特徴を見てみよう。



大島先生曰く「教養を身に付け、自分の意見を英語で話せるようになってこそ初めて、真の国際人といえる」

学ぶ目的やレベルが違えば 適した英会話学校も変わる

大島さんが重視するのは、学習方法の「継続可能性」と「実効性」だ。

「英語力を向上させるにも、それを維持するにも、『やり続ける』ことが不可欠です。しかし、学ぶ目的と方法が合っていないと効果が出にくく、挫折してしまいます」

皆さんの中には、「英語学校へ通ったけれど続かなかった」という方も少なくないのではないだろうか。

「私の講師経験では、社会人は得てして飽きっぽいように思います(笑)。テキストやテーマを次々と変えていかないと、辞めてしまう人が出てきます。学ぶ目的も多様なので、きめ細かなクラス分けも重要になります」

受講生の「英語を学ぶ目的」をきちんと理解し、レベルに応じた多彩なレッスンを用意している英会話学校が、ビジネスパーソンにとっては特に重要なのだ。

「恥ずかしいからとプライベートレッスンを選択する人も多いです。また、受講生同士でのペアワークを頑なに拒む方もいます。しかし、実際のビジネス場面では、英語を母国語としない人同士で英語で会話することは多々あります。積極的に会話に

参加する経験が大切なので、少人数グループのレッスンにも意味があるのです」

電子辞書は必要な自己投資 多彩な機能で飽きずに学ぶ

大島さんは、生徒たちに「電子辞書のフル活用」を強く勧めているそう。

「英語を学ぼうと思うなら、最高の辞書を持つべきです。機種にもよりますが、最近の電子辞書は信頼できる和英・英和・英英・文法辞典が小さなボディにすべて納められています。自己投資として必要な経費だと思いますよ」

辞書機能だけでないのが、最近の電子辞書のすごさだと大島さんは言う。

「私が使っている辞書には、TOEICテストの公式問題集や、ネイティブの発音を聞いて自分も発音できる学習コンテンツなども納められています。英会話学校に行く時間が作れないなら、こういう電子辞書に向かって発音訓練をするのも有効だと思いますよ。これ一台をフル活用すれば、かなり英語力が付くと思います」

定期的に試験を受けて、 自分の英語力を把握しよう

昇給昇進や異動の指標として利用する企業も増えてきたTOEICテストについては、「目標とモチベーションの維持にとっても有効的だ」と評価する。

「自分がどこまで英語を身に付けられたか、客観的な点数でチェックするのは大事なことです。最近では従来のテストに加えてスピーキング&ライティングのテス

ト普及にも力を入れているようですが、これは正しい流れだと思います。英語は本来、『読む・聞く・書く・話す』の4技能をバランス良く身に付けるべきですし、特に日本人の弱点である『話す』能力を点数化することは、多くの英語学習者にとって刺激になると思います」

コツコツ学び、定期的に到達度を測定する。それを習慣化することが、ビジネスパーソンの英語習得の肝かもしれない。

真の国際人を目指すなら 英語力だけでなく教養を磨いて

最後に大島さんが強調したのは、「言葉は言葉だけで独立したものではありません。その言語を通して歴史・文化・生活様式などを学び、幅広い教養を身に付けることが国際人として必要不可欠だと思います」ということだ。

「私の上級クラスでは、政治・経済・社会問題などを取り上げて、『自分はどう考えるか』を話す訓練もします。高度な英語力だけでなく、文化的背景知識や理解を求められるジョークにも親しんでいきます。皆さんは『ゆとり教育』や『アベノミクス』を、自分の意見もまじえて英語で説明できますか? 訓練すれば、決して難しいことはありません。真の国際人を目指して、ぜひ一緒に頑張ってください」

dot.

AERA Business English企画は、朝日新聞出版のポータルサイト「dot.(ドット)」にも同時掲載中。

資料請求は、添付のハガキ、または以下からどうぞ。
<http://dot.asahi.com/ad/150223/>

総合的な英語力と論理的発話力の向上のためにも！

ビジネスに効く「話す」「書く」英語力が身に付く！ TOEIC® S&Wテスト

TOEIC®と聞くと、リスニング・リーディングのTOEIC®テストを思い浮かべる読者も多いだろう。しかし、世界の英語教育に精通する英語講師の安河内哲也氏は、「真の英語力を身に付けたいのなら、これからはTOEICテストに加え、TOEIC®スピーキングテスト/ライティングテスト (TOEIC S&Wテスト)をぜひ受験すべきです」と強調する。その理由と、TOEIC S&Wテストへの取り組みが生み出すメリットについて、詳しく聞いた。

聞く・読む・話す・書くの4技能試験が今や世界標準

「私がTOEIC S&Wテストの受験を勧める理由は明確です。今や世界の名だたる企業や大学において、『聞く・読む・話す・書く』の4技能で英語力を測定するのが普通になっているからです。欧米はもちろん、香港、台湾、韓国などアジアでも4技能試験が主流になってきています」

通常のTOEICテストで『聞く・読む』力を測り、さらに『話す・書く』力も測定すれば、真の英語力が見えてくる。

「もしあなたが世界標準の英語力を身に付けたいならば、これからは4技能の学習が不可欠です。特にTOEICテストで700点以上を取れる人は、TOEIC S&Wテストに取り組むことでバランスの良い英語力が身に付くだけでなく、TOEICテストで測るリスニング・リーディングの能力にも良い影響が現れます。これは私自身が体験した事実です」

スピーキングテストでビジネススキルも上がる!?

「中でもスピーキングテストが素晴らしい」



やすこう ちてつや
安河内哲也さん
東進ビジネススクール講師

「単に発音や日常会話力をチェックするのではなく、論理的思考力やプレゼンテーション力も試される内容になっています。いわば日本のビジネスパーソンに最も求められる英語力が、このテストに取り組みむことで習得できるのです」

たとえば、提示されたテーマに対して60秒以内で自分の意見と理由を述べる、という設問がある。即座に自分の考えをまとめ、相手が納得できる内容を時間内で発話するのは、実際のビジネスでの場面に対応する訓練にもなりそうだ。

「このテストに向けてトレーニングすると、決められた時間で自分の意見を述べる力が付くので、英語に限らず日本語での発言も上達します。多くの人がTOEIC S&Wテストを受けるようになったら、会社の会議もグッと短くなるでしょうね(笑)」

「受けて楽しいテスト」で真の英語力を測定しよう

安河内氏は、「これまでの英会話学習、特にスピーキングの習得は、まるで体重計を使わずにダイエットしているようなものでした」と言う。「自分がどれだけ話せるようになったか、客観的な目安がなかった。それがこのテストを受ければ、明確にわかります。英語力だけでなく、論理的発話力も可視化されますので、ビジネスパーソンが利用する意味は大きいと思いますね」

TOEIC S&Wテストは、「テストな

のに、受けていて楽しい」と安河内氏は言う。「試験中は頭をフル回転させるので、80分があつという間に過ぎます。これからは、TOEICテストに加えて、TOEIC S&Wテストのスコアも目標にしてほしい。ぜひ英語4技能で自分の真の英語力を知り、より高い目標に挑戦してください」

TOEIC® S&W公開テスト スケジュール

試験日	申込期間	追加申込期間	結果発送予定日
2015年4月19日(日) 10:00/14:00	3月6日(金) 10:00~ 4月3日(金) 15:00	4月6日(月) 10:00~ 4月13日(月) 12:00 (正午)	5月19日(火)
2015年5月17日(日) 10:00/14:00	4月3日(金) 10:00~ 5月1日(金) 15:00	5月7日(木) 10:00~ 5月11日(月) 12:00 (正午)	6月16日(火)

詳細はウェブサイトを確認を！

TOEIC S&W テスト 検索

※申込み締切後、空席がある場合に限り、締切日の翌営業日より期間限定で追加申込を受付いたします。
追加申込期間内のお申込みには通常受験料の他に手数料が加算されますので、ご注意ください。



ETS, the ETS logo, PROPELL, TOEIC, TOEIC Bridge, TOEIC BRIDGE are registered trademarks of Educational Testing Service in the United States, Japan and other countries and used under license.

■テストの形式・概要
パソコンを使用しての受験/スピーキングテスト：約20分間・計11問/ライティングテスト：約60分間・計8問/受験料：10,260円(税込) / 受験地：全国主要都市 / 実施月：毎月一回
■テスト結果
スピーキングテスト：0~200点(10点刻み)・発音、イントネーションアクセント(3段階) / ライティングテスト：0~200点(10点刻み)

問い合わせ先：一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 <http://www.toEIC.or.jp> ☎03-5521-6077 (土・日・祝・年末年始を除く10:00~17:00)

こうすれば、
もっと簡単に
言い換えられる！

She is too kind.
彼女は親切すぎるよね

「お人よし」

She always
believes everything.
彼女はいつでも何でも信じてしまう

My advice means
nothing to him.
私のアドバイスは、彼にとっ

「聞く耳を
持たない」

He thinks he is always right,
so he doesn't take my advice.
彼は自分がいつも正しいと思っているので、私のアドバイスを受け入れない

Es. などと言おうとする人が日本人には少ない。そうした表現も間違っているが、*Don't get it.* のような簡単な言い回しで十分。平明な言葉を使えるようになるこそ大切で、「こんな簡単な言い方をしないで幼稚だと思われるだろうか」「……」といった心配は無用だと、サインさんは話す。

「わかりやすく言い過ぎている」という批判は、英語ではあまりありません。相手にいい印象

象を与えたいという思いよりも、わかりやすさを優先し、シンプルなお話を進めましょう。」

身ぶり手ぶりや顔の表情、声色などの追加情報が付けれない「英作文」では、心細さも手伝って、多くの言葉を連ねがちだ。しかし、読む人に読解の負担を強いる書き言葉でこそ、簡潔な表現が「マナー」だと、サインさんは強調する。そして、下記の「掟」を意識しながら文章を簡潔化する練習を勧める。

日本語なまりでもOK

日本の文学や英会話スクールなどで英語を教えてきたオーストラリア人のニコラス・ケンブさんが力説するのは、「ネイティブのよきな発音を目指す必要はまったくない」ということだ。

ケンブさんが接してきた日本人には、日本語なまりの発音を恥ずかしく思ったり、間違った発音を恐れ、英語を話そうとしない人が少なくない。彼は、ネイティブの発音が「正しい」とき、それに近づこうとすることを重視する傾向があるという。「世界中の人々がそれぞれのな

まりで英語を話している。彼らの多くは自分が正しくない発音や表現をしていると自覚しているが、言いたいことが伝わっている限り気にしません。ネイティブの発音を目指するのは、自分に過大なプレッシャーをかけてことになる、英語の習熟度を高めさせます」(ケンブさん)

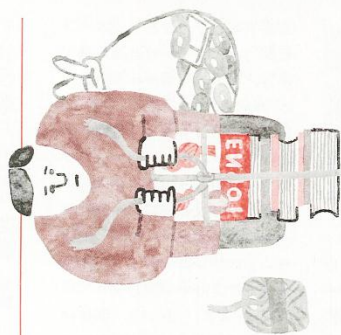
なまりがあっても、①単語と単語をつなげて発音する②中とs、tとp、rとmを区別する

④アクセントの位置を見える——の3点を抑えれば、英語はべつと通じやすくなる、ケンブさんは助言する。

「英語習字ぶゴールは、上手に話すことではなく、会話を楽しむことではないでしょうか」(同)

3人が異口同音に唱える「開き捨て」学習法。それが本当に磨いてくれるのは「コミュニケーションの真髄」かもしれない。

ライター 田村崇浩



「2割」でOK

「捨てる英語」でハードルを下げよ
何も難しい単語や文法を駆使しなくてもよい。
シンプルに言い換えるスキルが必要なのだ。

るはずの口を重くし、文章を書けるはずの指を硬くしている。そう考える英語学習者たちが、英語の学習では「欲張らない」「大事なこと以外は聞き流す」ことを説いている。

こんな簡単でいいんだ

草木さんが言う。

「言いたいことの8割は捨てる2割を伝える。それでよしとするんです。大事なのは「本質を突く」ことです」

例えば、彼の娘はとてつもないと聞かれ、「乱気流にあった大変だった」と言いたくとも、*turbulence*、という単語が頭

に浮かばなくても、*It was like a roller coaster.* (ジェットコースターみたいな感じ。)
The flight wasn't smooth, so I couldn't sleep. (揺れて寝られなかった。) などと簡単な言葉で説明できれば、核心は伝わる。だから、*turbulence* がすらりと口をつく英語力よりも、平易な言葉で伝える力を養おうというわけだ。

じつは草木さんも、かつては「びつたりの英語」を強く意識し、言葉につまっていた。米国の大学に留学中、高級車を自慢している学生の話になり、「これ見よがしだね」と言いたかったが言えなかった。すると隣にいた日本人(現・夫)が *He says like, "Look at this!"* とさざりと言って、友人たちの爆笑を誘った。目からウロコが落ちた。

「こんな簡単でいいんだ、これ

なら私にもできるじゃん」と気づいたんです」(草木さん)

「魔法のボックス」

草木さんが提唱するのが、独りに考案した「魔法のボックス」を使うトレーニングだ(図参照)。

まず、伝えたい日本語を真ん中に書く。そして、その説明を四つの箱に記入していく。そのとき、①直訳を捨てる②「大人数」を捨てる(「子」と「語」を使う)③抽象語を捨てる(具体的な事実で示す)④「正しい」という基準を捨てる(「伝わる」を基準にする)——を意識する。

「大事なのは頭の柔軟さ。創造性です。手持ちの簡単な言葉だけでも、いろいろなきことが言える。電車に乗りながら、気づいた広告の言葉を英語でどう伝えられるか、一通りぼとぼとてみるのも、いい勉強になります」

米国出身で、日本で30年近く英語を教えているデイビッド・サインさんは、常々、「日本人は必要以上に難しい英語を使い過ぎる」と感じている。

「短かな表現をして尊敬されたという気持ちが強いのかもしませんが、米国人などでは難しい言葉で自分をアピールしようとする人は、かえって嫌われがちです。意味があることを単純な英語で言うのがベスト。反対に、単純なことを複雑な言葉で言うのは最悪です」(サインさん)

相手の言っていることがわからないとき、*There has been a miscommunication between*



青木ゆかさん
米国公認会計士の資格も持つ英語講師。本書に「できる英語」(日本経済新聞出版社)を著している。



デイビッド・サインさん
英会話学校を営む。本書に「できる英語」(日本経済新聞出版社)を著している。



ニコラス・ケンブさん
名古英語学校を営む。本書に「できる英語」(日本経済新聞出版社)を著している。